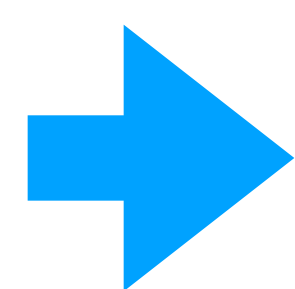


医療専門職を目指す留学生のためのアカデミックライティング教材開発

山元一晃・加藤林太郎（国際医療福祉大学）・浅川翔子（慶応義塾大学）

1. 教材開発の背景

- 成田キャンパスにおいて、医療専門職を学ぶ留学生は増加傾向にある。
- 経済連携協定 (EPA) に基づく看護師のための教材はあるが、学部生として看護を学ぶ学生のための教材は少ない。



看護を学ぶ学部留学生が
使いやすい教材が必要



研究成果は随時ホームページに追加します。
<https://www.livreparaviver.net/kango/>

2. 本教材で考慮した点とその根拠

ライティングを中心としている

- EPAに基づく看護師の多くが看護記録を書くことに困難を覚えているという報告がある。(国際厚生事業団 2013)
- 英語圏でも、看護師を目指す留学生がライティングで困難を抱えているという報告がある。(Crawford&Candlin 2013ほか)

看護学科の学び、特に実習に即している

- 看護学部で求められる課題は、一般的なアカデミックライティングとはかなり異なり、独特な技術が必要。
- 留学生にとって、箇条書き、体言止め等の使い方は学習する機会が少なく、困難に感じると考えられる。
- 実習中は忙しく、十分な推敲や添削ができない可能性がある。

3. 工夫した点

- ウェブサイト、友人との会話、電子カルテ、患者との会話等、様々な情報ソースから抽出し、情報を整理する練習ができるようにした。
- まず表現をピンポイントに練習し、その後、様式に記入するステップアップ式にした。
- 実習に行ったことがない学生が実習を疑似体験しながらライティングを学べるようにした

4. 構成と各課の情報源および課題

各章と各課のタイトル		情報源	課題
第1章 実習前			
第1課	私の理想の看護師		レポート
第2課	施設情報	施設のホームページ	施設情報シート
第3課	行動計画	友人との会話	看護記録（行動計画）
第2章 実習中			
第1課	患者情報の記録	カルテ	看護記録（患者基本情報）
第2課	1日の振り返り	友人との会話	看護記録（行動計画）の一部
第3課	看護展開	患者との会話	アセスメントシート
第4課	看護計画		看護計画シート
第5課	先生とのメール		相談メール
第3章 実習後			
第1課	まとめのレポート		レポート

◆ 山元・加藤 (2018)、加藤ほか (印刷中) で詳細に紹介している。

- 今後は、実証的な研究に基づくものではないため、ニーズおよび内容に関する実証的な研究が必要。(山元・浅川 2019参照)

本研究は、国際医療福祉大学学内研究費に加え、JSPS科研費 JP19K00744の助成を受けたものです。

引用文献

- 加藤林太郎・山元一晃・浅川翔子 (印刷中) 「看護系留学生のためのライティング教材開発—電子カルテ等からの情報収集による課題遂行を中心に—」『早稲田日本語教育学』27.
- 国際厚生事業団 (2013) 『EPA 看護師に関する調査事業報告書』.
- Crawford, T. & Candlin, S. (2013) A literature review of the language needs of nursing students who have English as a second/other language and the effectiveness of English language support programmes, *Nurse Education in Practice*, 13, pp. 181-185.
- 山元一晃・加藤林太郎 (2018). 「看護師を目指す留学生のための実習に即したライティング教材の開発」『2018年度日本語教育学会秋季大会予稿集』, pp. 444-449.
- 山元一晃・浅川翔子 (2019) 「手本として示される実習記録の語彙の特徴の分析」『言語資源活用ワークショップ2019発表論文集』, pp. 259-272.